

2020年度

観光地経営講座

講義録

観光地マネジメントとしての危機管理

～新型コロナウイルスへの対応と

ポストコロナにおける観光地のあり方を考える～



2020年度
観光地経営講座 講義録

観光地マネジメントとしての危機管理
～新型コロナウイルスへの対応と
ポストコロナにおける観光地のあり方を考える～

はじめに

当財団では、1997年度の「観光リゾート基礎講座」（2001年度に「観光基礎講座」と名称変更）を皮切りに、旅行・観光分野の人材育成事業に取り組んでまいりました。2003年度からは「観光実践講座」を追加し、さらに2014年には両講座を統合し、現在の「観光地経営講座」に至っております。

本講座は、これまでの講座の特徴を踏襲しつつも、半世紀にわたる当財団の調査・研究事業で培ってきた経験とノウハウを「観光地経営」という視点で整理し、観光地経営に関する基本的な考え方と実際の取り組み事例から得られる知見を体系的に学んでいただけるように構成しています。

さらに毎年、時季に合ったテーマを設定し、最前線で実践されている外部講師を招聘し、当財団の研究員が講師の方々の知見を引き出しながら受講者の皆様とも議論して、より理解を深めるスタイルで開催しています。

テキストには、当財団が旅行・観光分野の調査研究機関に改組して50周年の記念事業として発刊した『観光地経営の視点と実践』（2013年初版発行、2019年第2版発行、丸善出版）を使用しています。2019年4月には改訂版を発行し、観光地経営を実現させるためのポイント（視点）を、これまでの8つから、昨今の自然災害などへの対応を踏まえた「リスクマネジメント」の視点を加えて9つとしました。また、参考となる実践例10地域についても、新たに4地域を取り上げるとともに、初版から掲載している事例について改訂を行いました。

2020年度の「観光地経営講座」は、「観光地マネジメントとしての危機管理～新型コロナウイルスへの対応とポストコロナにおける観光地のあり方を考える～」をテーマとしました。

新型コロナウイルス終息の兆しが見えない中では、例年のように当財団にお集まりいただくことは難しいと判断し、2020年7月14日（火）と21日（火）の2日間にわたり、Zoomウェビナー（講義1～講義5）とZoomミーティング（グループワーク）を用いたオンラインでの開催としました。

コロナ禍では旅行者、受け入れる地域ともに不安を抱えており、特に地域では、日々刻々と変わる状況への対応に追われながら、ポストコロナを見越した観光地のあり方を再度検討することが求められています。

よりいっそう重要性が増す観光地のリスクマネジメントの考え方をはじめ、旅行やライフスタイルに対する価値観の変化などを見据えた現在進行形のハワイ、沖縄、由布院の取り組みを共有するとともに、新型コロナウイルスをきっかけにさらに注目を集めるデジタルトランスフォーメーションなど、固定観念に捉われずに今後の観光地のあり方を多角的に考える内容としました。

本書は5つの講義とグループワークの内容をまとめた講義録です。これまでに経験したことがないリスクに直面した時に、地域では何が起こっていたのか、それに対して何を考えて、どのように行動したのかという記録としてはもちろん、リスクをチャンスに転換するしなやかな観光地経営のヒントが得られる一冊です。

受講していただきました皆様はもちろん、その他の地域におきましても、本講座および本書をきっかけに、魅力ある観光地経営に向けた具体的な行動につなげていただければ幸いです。

2020年11月

公益財団法人日本交通公社
観光政策研究部長 山田 雄一

Contents

目次

2020年度 観光地経営講座 講義録

観光地マネジメントとしての危機管理 ～新型コロナウイルスへの対応と ポストコロナにおける観光地のあり方を考える～

| | |
|---|----|
| はじめに | 2 |
| ◆Beyond Recovery:ハワイ再開にむけて ハワイの経済再開と再生戦略 (講義1) | 5 |
| 講師: Hawaii Tourism Authority 理事 木村 恭子 氏 | |
| ◆沖縄県の危機管理対策と新型コロナウイルス対応 (講義2) | 17 |
| 講師: 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地 芳郎 氏 | |
| ◆自然災害を乗り越えてきた由布院の経験とチャレンジ (講義3) | 31 |
| 講師: 一般社団法人由布市まちづくり観光局 事務局次長 生野 敬嗣 氏 | |
| ◆新型コロナウイルスによって変化する 観光地と観光地マネジメント (講義4) | 43 |
| 講師: 公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一 | |
| ◆ポストコロナを見据えた観光地イノベーションの方向性 ～デジタルトランスフォーメーションの観点から～ (講義5) | 57 |
| 講師: 公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部 上席主任研究員 相澤 美穂子 | |
| ◆グループワーク 安全・安心な観光地づくりを実現するリスクマネジメントと ポストコロナの観光地のあり方を考える | 69 |
| ファシリテーター: 公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一 公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部 主任研究員 福永 香織 | |
| Back Number | 72 |

■開催概要

2020年度 観光地経営講座

観光地マネジメントとしての危機管理

～新型コロナウイルスへの対応とポストコロナにおける観光地のあり方を考える～

◎開催日時：2020年7月14日（火）10:30～15:40、7月21日（火）10:30～15:30

Zoomウェビナーによるオンライン講義

◎対象：観光による地域振興に携わる地方自治体やDMOの担当者、観光関連事業者、商工会議所などの関係者など

◎主催：公益財団法人日本交通公社（JTBF）

◎プログラム

講義1 Beyond Recovery: ハワイ再開にむけて

ハワイの経済再開と再生戦略

（Hawaii Tourism Authority 理事 木村 恭子 氏）

講義2 沖縄県の危機管理対策と新型コロナウイルス対応

（一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地 芳郎 氏）

講義3 自然災害を乗り越えてきた由布院の経験とチャレンジ

（一般社団法人由布市まちづくり観光局 事務局次長 生野 敬嗣 氏）

講義4 新型コロナウイルスによって変化する観光地と観光地マネジメント

（公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一）

講義5 ポストコロナを見据えた観光地イノベーションの方向性

～デジタルトランスフォーメーションの観点から～

（公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部 首席主任研究員 相澤 美穂子）

グループワーク

安全・安心な観光地づくりを実現するリスクマネジメントと

ポストコロナの観光地のあり方を考える

（公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一）

（公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部 主任研究員 福永 香織）

■観光地経営講座テキスト『観光地経営の視点と実践』

昨今の市場環境の変化に対応し、既存の観光地が活性化していくためには、観光地全体をマネジメントしていく「観光地経営」という考え方が重要です。本書では、それを実現させるためのポイントを9つの視点から提言するとともに、全国10カ所の参考となる実践例を取り上げ、その学ぶべき点について丁寧に解説しています。

発行日 初版：2013年12月 仕様：B5判／230ページ 定価：本体2,800円＋税

第2版：2019年4月 仕様：B5判／268ページ 定価：本体3,000円＋税

発行 丸善出版

